

調査・研修等計画届出書

令和 4 年 10 月 4 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 長江 秀幸

政務活動 として、下記のとおり調査・研修等を実施いたします。

記

期 日	令和 4年10月12日から10月14日まで（2泊3日）	
調査先・研修名	第84回 全国都市問題会議	
会場名（会場所在地）	出島メッセ長崎	
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	今回のテーマは、個性を活かして『選ばれる』まちづくり～何度も訪れたい場所になるために～とのことである。本市も、「せと・まるっとミュージアム観光推進アクションプラン2021ー2025」を基に、本年度、国内観光客に主眼をおいた誘客策を推進し、日本遺産のまち瀬戸市ならではの特色のある有形・無形の財産を最大限に活用した観光推進に取り組むとしている。観光振興の戦略について6月定例会で一般質問をしているが、旅行先としてのイメージが本市は薄い現状である。本市の魅力を最大限に発揮し、訪れた方が更に瀬戸市のファンとなっただけのようなまちづくりについて学ぶ。	
議長名の依頼	要・ <input checked="" type="checkbox"/> 不要	依頼先（名称）
同行者名	池田信子、三宅聡	

※行程表を添付してください。

調査・研修等報告書

令和 4 年 10 月 31 日

瀬戸市議会議長 様

議員名 長江 秀幸 

政務活動として、下記のとおり調査・研修等を実施したので報告します。

記

期 日	令和 4年10月12日から10月14日まで（2泊3日）
調査先・研修名	第84回 全国都市問題会議
会場名（会場所在地）	出島メッセ長崎
調査・研修の目的 （今回の調査・研修に係る瀬戸市・自己の現状と課題を踏まえて）	今回のテーマは、個性を活かして『選ばれる』まちづくり～何度も訪れたい場所になるために～とのことである。本市も、「せと・まるっとミュージアム観光推進アクションプラン2021ー2025」を基に、本年度、国内観光客に主眼をおいた誘客策を推進し、日本遺産のまち瀬戸市ならではの特色のある有形・無形の財産を最大限に活用した観光推進に取り組むとしている。観光振興の戦略について6月定例会で一般質問をしているが、旅行先としてのイメージが本市は薄い現状である。本市の魅力を最大限に発揮し、訪れた方が更に瀬戸市のファンとなっただけのようなまちづくりについて学ぶ。
調査先の事業の現状・課題 / 研修で学んだこと・キーワード等	

基調講演

民間主導の地域創生の重要性

株式会社ジャパネットホールディングス
代表取締役社長 兼 CEO
高田旭人

1. ジャパネットと地域創生

- ・ 36年前小さなカメラ店→通販事業
- ・ 事業方針・・・見つける — 磨く — 伝える
- ・ 2017年より長崎のプロサッカークラブ「V・ファーレン長崎」の運営
→地域を盛り上げていきたい→全国各地に伝えていく→長崎の活性化に貢献
- ・ スポーツ・地域創生事業→2020年、長崎初のプロバスケットボールクラブ「長崎ヴェルカ」を立ち上げ運営→2024年の開業を目指す「長崎スタジアムシティプロジェクト（スタジアム・アリーナや商業施設、ホテル等）

2. 行政と民間の役割の違いについて

- ・ 行政は皆が平等公平に恩恵を受けられる環境づくり→安心できる環境がある→民間はチャレンジできる
- ・ 民間企業の役割は「幸福の最大化」（社会全体における幸せの総量を増やす）
→思い切った取り組みをすることが必要

3. 長崎スタジアムシティプロジェクトへの想いと目指すところ

- ・ 長崎の可能性をもっと信じてほしい→実は目の前にすばらしいものが眠っている
→磨き工夫をこらし伝えていく
- ・ 最終的には、長崎県内の人口増→出生率の向上→地域経済も良い方向へ→地域への誇りや自分自身の幸福度も上昇

4. 長崎スタジアムシティプロジェクトで実行するアイデア集

- ・ 荷物の持ち込み禁止（ロッカールームをたくさん配置）→入口での荷物チェックを簡素化（利便性の向上と運営コストの削減）
- ・ 試合後の出庫時間に応じて駐車料金を変えるIoTをフル活用（例えば、試合終了直後の出庫は割高に、試合終了後2時間経過したあとは割安に。乗車人数によって料金を下げる）
- ・ 日常使っていない施設を有効利用し、坪単価を上げて貸し出す→ジャパネットも借主の企業もお互い良い形で運営・入居→スタジアム・アリーナを活用し、賃貸面積が少なくても快適なオフィスを実現
- ・ 年間シート購入者に高速Wi-Fiを提供（コスト減）
- ・ 商業施設の使用ターゲットを昼夜で変えて稼働率を上げる
- ・ サッカーの試合がない日も楽しめる演出を行い、日常的に人だ集まる場所にする
- ・ スタジアムのVIPルームは、試合がない日はスタジアムが臨めるホテルとして活用
- ・ オリジナルビールで車の交通量を減らし渋滞緩和

- ・試合前後にスタジアムで楽しめるサッカー・バスケットの特集番組をつくり、スタジアム内で放送する（1日楽しめる場所としてスタジアムシティが広がり、交通渋滞の緩和にもつながる）
- ・語学とスポーツを両方同時に学べるスクールの開設
- ・長崎大学大学院を誘致し、オフィスへ入居する企業との交流を促進する

5. 行政に期待すること

- ・行政だからできること、民間だからできること、今こそ官民そしてそこに住む地域住民の方々と連携し、手を取り合いながら、長崎はじめ、地域全体の幸福の総量を増やしていきたい

主報告

長崎市の魅力あるまちづくり

長崎市長 田上富久

1. はじめに

- ・人口約40万人の中核市
- ・長崎港を中心としたすり鉢状の地形に形成された斜面市街地とあいまって、独特の都市景観
- ・戦争被爆地→国際平和文化都市として役割を果たしている

2. 長崎市の交流の歴史

- ・「港あり 異国の船をここに招きて 自由なる町をひらきぬ 歴史と詩情のまち ナガサキ・・・」（古賀十二郎先生の言葉）→長崎の特別な歴史が港からはじまった→港を通じての交流で栄えた→国内外のさまざまな文化を取り入れながら、豊かな個性をもつ都市として発展
- ・「交流」・・・キリスト教の布教→禁教→鎖国
- ・「貿易都市」として栄える→近代医学の発展→西洋の産業・技術（明治政府の殖産興業政策につながる）
- ・長崎の交流→日本の歴史、経済発展にも大きな影響

3. 時代の変革期

- ・HafH・・・世界中の関連宿泊施設を利用し、旅行や仕事ができる定額制の居住提供システム→コロナ禍の成功事例
- ・大都市から地方へと新たな人の流れが生まれ始めている
- ・もう一度私たちが住んでいるまちの価値を見直す→新しい時代の多様な都市のあり方が見えてくるかもしれない

4. わがまちの価値とは

- ・価値を見つける・・・端島炭鉱（軍艦島）・長崎恐竜博物館
- ・価値に気づく・・・「長崎さるく」（全国のまち歩き観光の先駆け）→長崎市に散らばる魅力を見つけながら歩く→住んでいる市民が地域資源の価値に気づかないと持続可能な観光は実現しない→市民参画による企画やガイド→シビックプ

ライドの醸成

※特別な何かをつくるのではなく暮らす人にとっては身近にありながらも、気づいていない価値に気づくことで、まちへの愛着につながる

- ・価値を磨く・・・景観専門官制度→職員だけでは気づきにくかった視点からアドバイス→長崎駅周辺再整備事業、出島表門橋の架橋、市内各地の公園・道路・建物などの整備・改修→まちの魅力向上

「まちぶらプロジェクト」→市民と一緒に賑わいをつくる→地域の資源や市民・企業などがまちの魅力となり、まちの賑わいを高めている

- ・価値を生み出す・・・ジャパネットが進めている「長崎スタジアムシティプロジェクト」→市でもプロジェクトチームをつくり官民一体となった取り組みを進めている

「BSL（バイオセーフティレベル）－4」→長崎大学には我が国唯一の熱帯医学研究所が創設→国際的な医療・保険分野の発展に貢献→最先端の感染症研究→さらなる国際的な貢献→長崎に新たな価値

「さかのうえん」→斜面地の老朽空き家除去後の跡地を農園として有効活用→多世代の交流や地域の活性化

5. おわりに

- ・4つの視点で価値を見つめなおす→「交流」が欠かせない→「長崎ライフ」→持続可能な地域社会の構築

一般報告

何度も訪れたくなる場所・都市の新たな魅力と関係人口

島根県立大学地域政策学部准教授 田中輝美

1. はじめに

- ・関係人口・・・短期間の交流や観光という関わり方ではなく、長期間暮らし続けるという定住という関わり方でもない、その間にある新しい地域との関わり方で、若い世代との相性が良いという点も重要なポイント。

2. 若い世代との関係人口

- ・鳥取市用瀬町・・・「体験と民泊 もちがせ週末住民の家」→日本人全体の人口のパイが減っていく中で、地方同士が人口を奪い合っても仕方ない。まちを面白くしていけるのは、まちに住んでいる人だけではないはず。だからこそ『人口をシェアしよう』（ウェブサイト）→3人で2021年、「株式会社週末住民」を立ち上げ、民宿とコミュニティ運営に加えて、地元企業との協働や食の魅力発信といった新規事業を運営

3. 観光以上、定住未満

- ・地域の人口減少→一部の自治体の問題（過疎地域）→多くの自治体が人口減少に直面→よそ者は警戒から歓迎の存在→関わりしろが生まれた

- ・首都圏→ふるさとを持たない「ふるさと難民」の増加→安心できる仲間との関係を求めているという指摘
- ・地域に残るつながりが、若い世代を引き付ける新しい試験になった
- ・需要と供給、両サイドの変化が起こったことで、新しい存在としての関係人口が生まれてきた

4. 「選ばれる」ための新しいインフラ

- ・人との関係をつくる窓口となる場所→「関係案内所」→地域にあるゲストハウス、カフェ、コワーキングスペース→関係を案内できる人がいる
「応援消費」→応援するために物を買う→関係人口のあり方の1つ→「行く」だけではない多様な関わりしろを用意→「選ばれる」まちにつながる

5. おわりに

- ・野球のチームに例える→「関係人口」は助っ人外人→自分たちのチーム課題と戦力→どんな外国人が必要か→力を合わせてともにいいチームをつくる→関わりがいのあるチーム→どんなチームで、どうつくっていけばいいのか→この問いから始まる→「選ばれる」まちをめざしたときの第一歩

一般報告

ビジョンを活かしたまちづくり ～「選ばれる山形市」を目指して～

山形県山形市長 佐藤孝弘

1. はじめに

- ・城下町として発展→紅花商人のまち→山形県の県都として行政の中心的役割
→平成31（2019）年4月に中核都市に移行
- ・立石寺、蔵王スキー場→自然や歴史が織りなす地域資源にあふれるまち
- ・山形盆地に位置する→寒暖差が大きく良質の水に恵まれた環境→つや姫（ブランド米）、さくらんぼ、ラ・フランス、ぶどう、きゅうり、セルリー、山形牛
- ・そば店、ラーメン店（麺王国）

2. 2大ビジョン—「選ばれるまち」となるための基本的な考え方

- ・「健康医療先進都市」・・・総合病院が数多く立地→人口1人当たりの診療所数も多い→山形大学医学部において令和3（2021）年2月から次世代型重粒子線がん治療が開始（最先端の医療提供）→医療と健康における強み→都市ブランド
- ・「文化創造都市」・・・山形国際ドキュメンタリー映画祭（隔年開催）、山形交響楽団、東北芸術工科大学→まちづくりに積極的に関わる→平成29年、ユネスコ創造都市ネットワークの加盟認定

3. 「歩くこと」をベースにした健康で暮らしやすいまちづくり

- ・市民の健康寿命の延伸・・・食事（S）、運動（U）、休養（K）、社会（S）、禁煙・受動喫煙防止（K）に留意する「SUKSK（スクスク）生活」→保健所内にシンクタンクを設置→医師、保健師、薬剤師、管理栄養士、歯科衛生士といった専門職の知見を活かす→市民の健康に関するデータを科学的に分析

→フレイル対策や減塩事業などの取り組み

- ・「健康ポイント事業SUKSK」・・・スマートホンアプリを活用し、歩数によって「健康ポイント」がたまり、抽選で山形市の特産品などが当たる
- ・令和2年3月、「ウォークブル推進都市」の1つに加わる→中心市街地の公開空地へのイス・テーブル等の設置、車両通行止めによる道路のテラス化などの社会実験
- ・消雪歩道の整備・・・地下水還元方式無散水消雪システム→消雪歩道同士をつなぎ合わせネットワーク化し回遊性を高めていく→冬でも歩きやすいまちづくり
- ・山形五堰を活かし、歩いてまちを回遊したくなるまちづくり
- ・令和4年4月18日、新たな屋内型児童遊戯施設「シェルターインクルーシブプレイス コパル」がオープン→誰もが分け隔てなく楽しく遊べる

4. 「公共交通の充実」による徒歩の補完

- ・公共交通ネットワークの構築や交通結節点の整備
- ・5月には路線バス等において地域連携ICカード（チェリカ）のサービス開始
- ・タクシーを活用した新しいコミュニティ交通のモデル事業
- ・電動アシストタイプのシェアサイクルの導入やサイクリングロードの整備

※自家用車に頼らなくても生活できるまちづくりの推進

5. 文化芸術活動を通じて持続的発展を目指す

- ・文化芸術活動家→関係人口→移住につながった事例も多くある
- ・令和4年4月に「山形市文化創造都市推進条例」を施行
- ・令和4年9月1日「やまがたクリエイティブシティセンター」がオープン（文化創造都市の拠点施設）

6. むすびに

- ・引き続き2大ビジョンに基づき、都市ブランド力の向上と持続可能なまちづくりをめざす

一般報告

「交流の産業化」を支える景観まちづくり ～長崎市景観専門監の取り組み～

一般社団法人地域力創造デザインセンター代表理事

高尾忠志

1. 長崎市のまちづくり戦略

- ・オリジンをオリジナリティに育て上げる地域戦略の実現→個性を持った選ばれる地域になりえる

2. 長崎市景観専門監の導入

- ・景観専門監に与えられたミッション→長崎市が行う公共事業のデザインの指導と管理と長崎市職員の育成の2点
- ・個々の公共事業によって長崎のまちに価値を創造することをミッションとしている→担当職員と検討

3. 時代が求める価値とは

- ・人々の体験を想像／創造し、それがより多様な人々にとって良いものとなるための工夫と配慮を積み重ねていく
- ・1つ1つの事業や取り組みにおいて、ユーザー目線に徹したパブリックデザイン

4. 価値創造に向けたデザインマネジメント

- ・ユーザー目線→まちを総体的に意識→個々の事業を検討するアプローチ
- ・デザインの監修、事業間調整を行う主体が事業の現場に必要
- ・ビジョン念頭おく→現場で微調整を積み重ねる

5. 人材こそ未来

- ・地域の歴史、場所の履歴、周囲に見えるもの、住民の願い、利用者ニーズ、市全体のビジョン、関係者の都合→あるべき整備の姿を検討
- ・当たり前のことをきちんと丁寧にやる→そのためにこそ問う存在が必要

6. さいごに

- ・職員育成（人的資本）、人のつながり（社会関係資本）に投資する自治体戦略
→景観専門監は非常に意義深い仕組み→各自治体において質の高い景観まちづくりが実現されることを願う

パネルディスカッション

「選ばれる」まちづくりに向けた都市自治体のアプローチ

東京都立大学法学部教授 大杉 寛

- ・都市の未来図の形成にコミットできるような余白と手がかりを意識的に提供し、価値実現のプロセスを享受できるように工夫できるかどうか次第

人が人を磨き、輝く人が人を呼ぶ ～「雲仙人プロジェクト」の試み～

ゆとり研究所所長 野口智子

- ・人は日々変化する→いい出会い方をすると、もっといい変化が起こる→人が人を磨いていく
- ・役所と私からスタートした動き「雲仙人プロジェクト」→2022年の夏「雲仙人の会」（民間団体）が立ち上がる

ワーケーションの意味の拡張と変異

山梨大学生命環境学部 地域社会システム学科教授 田中 敦

- ・今後ますます個人、自治体、企業の取り組みを総合的なアクションにつなげていくために、コロナ禍の動向を横目で睨みながら、当事者それぞれが何を大切にす
るかという視点を整理し連携しながら、ワーケーションの利点を上手に育ててい
くことが大切

人は人に会いに行く！ ～「まち歩き」で見つけた“まちのつくり方”～

NPO法人長崎コンプラドール 理事長 桐野耕一

- ・まちの良さを伝えるには→自分が誰よりもそのまちを愛すること
- ・まちを愛している人が話す→共感→自己肯定→大好きであることの再認識→何度
でも訪れたいと思う

人口減少先進地の挑戦 ～ファンと共に取り組むまちづくり～

岐阜県飛騨市長 都竹淳也

- ・人口減少を止めようと闘うばかりでなく人口減少を所与のものとして受け止める
- ・人口減少は不可避であることを認識してこそ新しい知恵や工夫が生まれる
- ・困難と思える地域課題解決の中に楽しみを見つける

清酒発祥の地・伊丹 ～酒と文化が香るまち～

兵庫県伊丹市長 藤原保幸

- ・清酒づくりで紡がれた歴史・文化
- ・コウノトリ、アオバズクなど野鳥が飛び交う自然あふれる昆陽池公園
- ・伊丹スカイパーク
- ・子育てや通勤など日常性格の利便性に優れている
- ・まちが将来にわたって発展していくために市民主体のまちづくりを進め、「選ば
れるまち」としてこれからも進化し続けることが重要

調査先（主な質疑・応答内容） / 研修（受講後の感想）

ジャパネットの高田社長の基調講演印象的であった。企業としても進化・成長し続け、民間として会社の事業方針である「見つける」「磨く」「伝える」を活かしながら地域創生に取り組んでいる。民間きぎょうの役割は「幸福の最大化」とのことばも印象的であった。「全ての人の願いを平等に叶えることはできないかもしれませんが、社会全体における幸せの総量を増やすことが、私たちの役割だとおもっています。」とのことである。企業は当然収益がなくてはいけないが、長崎スタジアムシティプロジェクト等、まちづくりに貢献していることはすばらしい。

調査・研修の成果・考察

（瀬戸市への反映・自己の能力開発への寄与等）

本市の目指す将来像は「住みたいまち 誇れるまち 新しいせと」である。本市も「選ばれる」まちになるため、市民・企業・団体と連携し進化し続けなくてはならない。地域資源を最大限に活用することはもとより、今回の研修でまずは、「まちを愛する」ことの重要性を再認識した。また、「関係人口」ということばを教わった。「短期間の交流や観光という関わり方ではなく、長期間暮らし続けるという定住という関わり方でもない、その間にある新しい地域との関わり方だ。そして、この新しい関わり方は、若い世代との相性が良いという点も重要なポイントに挙げられる。」とのことである。事例の紹介もあったが、若い世代が寄ってくるというのは魅力的である。ぜひ本市も参考にしたい切り口である。

第84回

全国都市問題会議

個性を活かして「選ばれる」まちづくり
～何度も訪れたい場所になるために～

第84回 全国都市問題会議



行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
4 年 10 月 12 日	瀬戸市役所前	名鉄	片道	大曾根	14.8	km	410	円		円
	大曾根	JR	片道	金山	6.5	km	200	円		円
	金山	名鉄	片道	中部国際空港	35.7	km	830	円		円
	中部国際空港	飛行機	片道	長崎空港	671	km	22,190	円		円
	長崎空港	バス	片道	長崎新地ターミナル		km	1,000	円		円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金			
ホテルモントレ長崎					095-827-7111		14,000 円			
備考欄										

38,630 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
4 年 10 月 13 日	出島	私鉄	片道	長崎駅前	1	km	140	円		円
	長崎駅前	私鉄	片道	出島	1	km	140	円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金			
ホテルモントレ長崎					095-827-7111		14,000 円			
備考欄										

小計 14,280 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃		特急料金 等	
4 年 10 月 14 日	出島	私鉄	片道	長崎駅前	1	km	140	円		円
	長崎駅前	バス	片道	小瀬戸西海岸通り		km	260	円		円
	小瀬戸西海岸通り	バス	片道	長崎駅前		km	260	円		円
	長崎駅前	バス	片道	長崎空港		km	1,000	円		円
	長崎空港	飛行機	片道	中部国際空港	671	km	19,230	円		円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金			
							円			
備考欄										

パック等による割引など

小計 20,890 円

円

宿泊費 合計

交通費 合計

28,000 円

45,800 円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

73,800 円

行程表

乗り換え案内ジョルダン <http://www.jorudan.co.jp/>

※往復利用の場合は、往復料金を入力してください。

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃	特急料金	等	
4 年 10 月 14 日	中部国際空港	名鉄	片道	金山	35.7	km	830	円	360	円
	金山	JR	片道	大曽根	6.5	km	200	円		円
	大曽根	名鉄	片道	瀬戸市役所前	14.8	km	410	円		円
						km		円		円
						km		円		円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金			円
備考欄										

1,800 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃	特急料金	等	
年 月 日						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金			円
備考欄										

小計 0 円

日付	出発駅	交通手段	片道 / 往復	到着駅	距離		交通費			
							運賃	特急料金	等	
年 月 日						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
						km		円		円
宿泊先名称					TEL		宿泊料金			円
備考欄										

パック等による割引など

小計 0 円

円

宿泊費 合計

交通費 合計

0 円

1,800 円

申請額合計
(宿泊費+交通費-割引代)

1,800 円

公明党瀬戸市議団 第84回全国都市問題会議 研修行程表

1 研修市及び目的 個性を活かして『選ばれる』まちづくり（長崎市）

14:30集合

2 日程 10月12日（水）～10月14日（金）

※場所 瀬戸市役所前

12日 （水）	<p style="text-align: center;">14:50発 15:15着 15:28発 15:36着 15:49発 16:33着 16:35発 16:40着 17:50発</p> <p style="text-align: center;">瀬戸市役所前駅 — 大曾根駅 — 金山駅 — 中部国際空港駅 — 中部国際空港—</p> <p style="text-align: center;">名鉄瀬戸線（410円） JR中央本線（200円） 名鉄名古屋本線（830円） 徒歩</p> <p style="text-align: center;">19:20着 19:40発 20:15着 20:17発 20:42着</p> <p style="text-align: center;">— 長崎空港 — 長崎新地ターミナル — ホテルモントレ長崎</p> <p style="text-align: center;">ANA373便（66569円3人分） 高速・連絡バス（1000円） 徒歩</p> <p style="text-align: right;">（宿泊）ホテルモントレ長崎（2泊） TEL 095-827-7111</p>
13日 （木）	<p style="text-align: center;">8:36発 8:44着 8:46発 8:51着 8:53発 8:58着</p> <p style="text-align: center;">ホテルモントレ長崎 — 出島 — 長崎駅前 — 出島メッセ長崎</p> <p style="text-align: center;">徒歩 長崎電気軌道1系統（140円） 徒歩</p> <p>9:30 開会式 9:50 基調講演 11:00 主報告 12:10 （昼食） 13:30 一般報告（休憩） 14:50 一般報告 15:50 一般報告 17:00 終了</p> <p style="text-align: center;">17:11発 17:16着 17:18発 17:23着 17:25発 17:33着</p> <p style="text-align: center;">出島メッセ長崎 — 長崎駅前 — 出島 — ホテルモントレ長崎</p> <p style="text-align: center;">徒歩 長崎電気軌道1系統（140円） 徒歩</p>

当初は出島駅と一歩先に電車で
 帰路の予定だったが、西土場の見学を
 することになったため、舟屋空機を使用
 することになった。（三宅議員同行）

14日
(金)

8:36発 ホテルモントレ長崎
8:44着 出島
8:46発 長崎駅前
8:51着 長崎駅前
8:53発 出島メッセ長崎
8:58着 出島メッセ長崎
徒歩 長崎電気軌道1系統(140円) 徒歩

9:30 パネルディスカッション
11:50 閉会式
12:00 終了

12:10発 出島メッセ長崎
12:14着 長崎駅前
13:00発 長崎駅前
13:23着 小瀬戸西海岸通り
13:25発 小瀬戸西海岸通り
13:40着 長崎市西工場
15:43発 長崎市西工場
徒歩 食事等 長崎バス(260円) 徒歩 工場見学 徒歩

15:58着 小瀬戸西海岸通り
16:00発 小瀬戸西海岸通り
16:22着 長崎駅前
16:35発 長崎駅前
17:19着 長崎空港
20:00発 長崎空港
21:15着 中部国際空港
21:30発 中部国際空港
徒歩 長崎バス(260円) 高速・連絡バス(1000円) 食事等 ANA374便(38460円2人分) 徒歩

21:35着 中部国際空港駅
21:37発 中部国際空港駅
22:01着 金山駅
22:12発 金山駅
22:20着 大曾根駅
22:32発 大曾根駅
22:58着 瀬戸市役所前駅
名鉄空港線ミュースカイ(830円・指定席360円) JR中央本線(200円) 名鉄瀬戸線(410円)